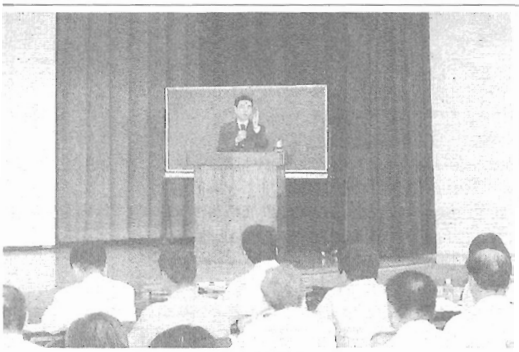
CALS／EC等 経営戦略に活用を
ISOやPMの連携も

県建設業協会（谷口屯会長）、全日本建設産業CALS推進研究委員会（委員長・庄子幹雄鹿島建設㈱副社長）、MCP建設経営研究所（鈴木勝美所長）の共催による中小企業向け建設CALS／ECとコスト縮減（ISO・PM連携）マネジメントの全国情報管理技術者養成特別研修会は4日、鹿児島市の県建設センターで始まった。協会員ら約80人が参加して、建設CALS／ECを生かした経営戦略や事例などを学んでいる。5日まで。

研修会では、初めに鈴木所長が、国土交通省では13年10月から、3億円以上、100件の電子入札等を実施し、地方自治体のCALS導入へ向けたアクションプログラムも策定することを説明。「IT時代に繁栄する企業経営の条件は、CALS／EC、ISO9000S、PM（プロジェクトマネジメント）の3シナ



企業繁栄にCALS等を上手に活用してほしい——と挨拶する鈴木所長＝鹿児島市の県建設センターで

きょうまで

続いて、同研究所の是枝伸哉主任研究員が「中小企業再生への経営情報戦略とCALS／ECの活かし方」と題して講演。是枝氏は、①CALSとは②CALS・ISO・PM」の連携システム—などについて解説した。

この後は、全日本建設産業CALS推進研究委員会の畑久仁昭東亜建設工業㈱

基礎～導入～事例の取り組み」の題目で講義。

参加者は自社業務の参考にしようと、熱心に聞いていた。

日本ガス㈱ 天然ガス自動車講演会
約100人 導入に向けた補助金等も
現状や取組み認識

日本ガス㈱（佐藤敏郎社長）と日本ガス協会は4日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで天然ガス自動車講演会を開き、自動車ディーラーや運送会社、行政などから約180人が参加して、天然ガス自動車の現状やメーカーの取り組みなどについて学んだ。

冒頭、久留米良治常務が県内に天然ガス自動車18台が普及し、エコステーション1カ所を設置している現状を述べた上で、「ディーゼル自動車への規制が強まる中、天然ガスの認識や知名度を高め、普及に努めていきたい」と挨拶。

次いで、天然ガス自動車プロジェクト部の早田研一係長がテキストやOHPを用いて、天然ガス自動車の普及状況や取り巻く環境導入に向けた補助金などについて講演。参加者はメモを取りながら真剣に聴き入っていた。

また、いすゞ自動車㈱がメーカーの取り組みについて、鹿児島荷役海陸運輸㈱が天然ガストラックの導入について、鹿児島市環境局環境保全課が同市の低公害車の普及について講演。その中で同市は、平成22年までに、更新予定の市営バス88台のうち、小型バス及び13年度購入予定の中型バスを除く69台を天然ガス自動車に切り替える報告をした。

寺師弘己日本ガス㈱部次長は「国の長期エネルギー需要見通しの中でも、2010年までに天然ガス自動車100万台の普及がうたわれている。県内の状況はまだまだ低く、今回の鹿児島市のような行政が率先的に導入して頂けることは天然ガス自動車のPRにもなり大変ありがたい」と語った。

天然ガス車の普及状況等の講演を真剣に聴く参加者＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしま

明日に駆ける

㈱スタイロジャパン 営業第1課 小田 亜樹さん

入社してまだ数カ月だが、営業第1課期待のホープ。現在、同社が加世田市に所有する「スタイロンシステム加世田プラザ」でのアテンダントを主に務める。「会社のリサイクルシステムを知り、環境問題に興味を持ちました」と入社の動機を語る。

同プラザには婦人会、PTA、各自治体など年間を通して多くの来場者が訪れる。いろんな人と接してみて、環境に対する認識が明らかに変わったそうだ。「特に主婦の方々は、お子さんに与える影響とかを考えておられるようで、利用者の声は大切にしていきたいですね。」

同社は、完全な廃発泡スチロールの循環リサイクルシステムを目指し、平成7年に設立。現在では、全国27都道府県に19の事業ネットワークを持つ。現在ドイツ国内に事務所を開設、企業との業務提携も進んでおり、ドイツへの営業展開も視野にいれている。また今後、国内でも化粧型枠をはじめとした建設廃材の回収処理も積極的に行っていく構えだ。「直接携わってみて、リサイクルの必要性を改めて感じています」。鹿児島市祇園之洲町34。

利用者の声を大切に

鹿屋市 寿地区生涯学習施設新築
無事故へ安全祈願祭
RC造平屋建1223㎡

鹿屋市寿地区生涯学習施設新築工事の安全祈願祭が3日、同市新川町の現地で行われ、地元関係者や施工業者らが出席して、無事故無災害の竣工を祈願した。

この日の神事では、刈り初めの儀、鍬入れの儀に続いて、鹿屋市の西園琢巳助役（市長代理）、新名主勝哉教育長、㈲松田設計事務所の松田守男所長、同工事の安全協力会の小林正義会長（小林建設㈱）、地元町内会代表らが玉串を捧げ、無事完成を祈念した。

直会では、西園助役が「本市の総人口の4分の1を占める、この地域の人々のシンボルとしてこの施設が利用されることになるが、リーダー的な地域活動を期待します」と述べ、安全工事の徹底も要請した。設計担当の松田所長は「この地域の方々の知恵をかり、意向を汲んで設計に当たった。この初期の目的を十分に達成できるよう無事完成するよう祈ります」、小林会長は「設計者と十分に相談、持てる技術をもって発注者の要求に応え、無事故無災害に努力致します」と決意を語った。

同施設は、鹿屋東中学校区を利用対象に建設されたもので生涯教育のほか、避難施設としても活用される。建物は全体的に、木材を使用して安心感・親しみのもてる施設—というのが設計の概略。建物の主体構造はRC造平屋建て（一部大断面集成材）延べ1223平方㍍。工事請負費総額は3億8713万5000円。建築本体は3社共同企業体で来年3月15日の完成を目指す。

施工業者等は次の通り。

建築＝小林建設㈱・三光土建㈱・秋岡ハウジング㈲共同企業体▽電気設備＝九電工・クリエート共同企業体▽給排水衛生設備＝豊和水道工業㈱▽空調設備＝㈱南九州設備▽外構＝小林建設㈱▽設計・監理＝㈲松田設計事務所

神事で玉串をささげる小林会長＝鹿屋市新川町の現地で

肉の名門・島田屋の
焼肉・バーベキュー セット
ご予算少々、手軽で便利！
●花見●
●社内運動会
●ホームパーティ
●地鎮祭・上棟式
工事の
※屋内、屋外
（野菜・タレ・皿・ハシ
肉の名門 島田屋
TEL(099)226-
FAX(099)226-
上本町15-9（国道10号線マルコ弁当前信号を奥駅の

"真心とほほ笑みと"をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
婚礼家具，造作家具，増改築，ジュータン
カーテン，他，家具総合卸
鹿児島市東開町13—30
TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385